

スローロリス

動物を身近に感じられるとともに、自然を守る大切さを学ぶことができる円山動物園。ここでは、そんな動物園で暮らす仲間たちを紹介します。

「ロリス」はオランダ語で「道化師」という意味で、手足を伸ばして自由自在に動き回ることから名付けられました。夜行性で、基本的には群れをつくらず単独で生活。音を立てずにゆっくりと動くことで、敵から身を守ったり、獲物に近づいたりできます。

ゆっくりとした動きが特徴のサルの仲間

スローロリス

分類	サル目ロリス科
体長	10cm~30cm
体重	230g~1,200g
生息地	東南アジアの森林など
食性	果実、昆虫、樹液など



夜に活動する動物なので、皆さんが見学する時には部屋を暗くしています。9頭が暮らしており、動きの速さはさまざまで個性豊かです。活発に動くことが多い午前中に見に来ていただくのがおすすめです!

スローロリスの飼育を担当する 堤 職員



ココが面白い!

握る力が強い手足

野生ではほとんど地面に下りず、木の上で暮らすスローロリスの握力の強さは、人が枝から引き離そうとしても難しいほど。足で木にぶら下がりながら、餌を食べる様子も見られます。

コラム 動物と環境問題まめ知識

森林の伐採などによる生息地の減少や、漢方薬の材料、ペットや食用としての乱獲により、生息数が激減。日本でもスローロリスの密輸が見つかっており、現在円山動物園では、平成19(2007)年に東南アジアから日本に持ち込まれて保護された3頭を飼育しています。

ココが面白い!

暗くても周りが見える目

目には輝膜こうまくという光の反射層があり、少ない光もうまく取り込んで夜でも正確に物を捉えることができます。暗闇で目が光って見えることがあるので、注目してみてください。



開園時間 冬季(11月~2月)9時30分~16時、夏季(3月~10月)9時30分~16時30分
 休園日 第2・第4水曜(祝日の場合は翌日)、4月・11月の第2水曜を含む週の月曜~金曜
 所在地 中央区宮ヶ丘3
 入園料 600円。中学生以下、市内在住の65歳以上、身体障害者手帳などを持つ方は無料(証明書必要)。年間パスポートは1,000円
 交通機関 地下鉄東西線円山公園駅から徒歩約15分
 バス円山バスターミナルからジェイ・アール北海道バス(円15)動物園線、動物園前下車
 駐車場 959台。駐車料普通車700円
 詳細 円山動物園 ☎621-1426